



ごあいさつ

衣浦東部広域連合長
知立市長 林 郁夫

衣浦東部広域連合は、平成15年4月1日に碧南市、刈谷市、安城市、知立市、高浜市の5市における消防行政を所管する広域連合として、1本部、5消防署、6分署及び1出張所にて創立以来、令和5年で20年が経過いたしました。20年間にわたり安定的に活動できましたことは、これまで勤務されてきた消防職員の強い使命感や努力の積み重ねに加え、圏域住民の皆さまをはじめ、関係する団体の皆さまの多大なるご支援の賜物と心より感謝を申し上げます。

当連合の圏域は、創立当時の人口は47万人余りでありましたが、名古屋市近郊という地理的な条件に加え、自動車関連産業を中心とした工業の発展とともに都市化が進展した結果、現在の人口は53万人を超える地域となりました。

人口の増加や社会環境の変化に伴い、近年は災害の様相も変化をしております。火災件数は減少傾向にあるものの、救急件数は大幅に増加しております。また、大規模地震や突発的な集中豪雨による被害が全国各地で頻繁に発生するなど、災害が多種多様化しております。加えて、新型コロナウイルス感染症などの新たな脅威に対する危機管理が必要となっております。

これまで当連合は、圏域住民の生命と財産を守るべく、多様化した災害に適切かつ効率的に対応し、日々努力と精進を重ねてまいりました。今後も引き続き、組織として培ってきた消防に対する知見や経験を次世代の職員に継承し、時代に即した強固な消防組織を目指してまいります。

結びにあたり、今日までの感謝とともに、これからも、住民ニーズに応じた安全安心な消防行政に努めてまいりますので、引き続き皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げ、創立20周年のご挨拶とさせていただきます。



副広域連合長
碧南市長
襦宜田 政信



副広域連合長
刈谷市長
稲垣 武



副広域連合長
安城市長
三星 元人



副広域連合長
高浜市長
吉岡 初浩



創立20周年を祝して

衣浦東部広域連合議会
議長 沓名 宏

このたび、衣浦東部広域連合が創立から20周年という大きな節目を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

さて、衣浦東部広域連合は、碧南市、刈谷市、安城市、知立市、高浜市の消防行政を担う組織として平成15年4月1日に創立しました。この地域は、昔から碧海郡としてつながりが深い5市でありました。これまでは、各市における消防団や危険物安全協会など地域における消防関係団体の皆さまとともに、それぞれ独自に消防活動や火災予防活動などが行われてきました。こうした5市の消防が一つとなり20年、それぞれの地域性を尊重しつつ、消防組織一丸となって、本日まで関係5市53万人の生命財産を守っていただきましたことに、心から感謝の意を表します。今後も末永く圏域住民の安全安心を守っていただける心強い存在であり続けられますよう、ご期待申し上げます。

衣浦東部広域連合議会といたしましても、目まぐるしく変化する社会情勢に対応し、住民の皆さまが安全かつ安心して暮らしていくことができる地域づくりの一翼を担うべく努力してまいります。

結びに、衣浦東部広域連合のさらなるご発展と、皆さまの益々のご健勝を祈念いたしまして、創立20周年にあたってのお祝いのご挨拶とさせていただきます。



連合創立20周年を迎えて

衣浦東部広域連合消防局
消防長 可児 伸康

衣浦東部広域連合が平成15年4月1日に発足して、20周年を迎えられたことを心から感謝申し上げるとともに、これまで歴代消防長や諸氏先輩方の皆様が、様々な形で当連合の発展のためにご苦勞やご支援いただいたことに対して深く敬意を表します。

衣浦東部広域連合消防局は、現在、1本部5消防署6分署1出張所、443名で住民の安全安心のため日夜職務に邁進しているところでございます。

近年、全国各地で発生している地震などの自然災害は複雑多様化、大規模・広域化し、予想を超える甚大な被害が発生しております。この地域も南海トラフ巨大地震での甚大な被害が予想されており、住民の備えに対する関心や消防に対する期待、需要は益々大きくなり、消防の果たす役割はこれまで以上に重要なものとなっております。

我々は、地域に密着した消防として圏域住民の皆様の「生命」「身体」「財産」を守るために、そしてあらゆる災害にも対応できるよう、職員一同が一丸となって職務に精励してまいります。

結びに、今後も皆様方からのより一層のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げ、発刊に際してのご挨拶とさせていただきます。